

1歳6か月児健診 よくあるご相談

旭区役所 こども家庭支援課

Q. かんしゃくがひどいです。思い通りにいかないとひっくり返って駄々をこねます。

どんな行動にも理由があります。この時期、思いはたくさんあっても言葉で伝えられないことが多いため、かんしゃくという行動で表現することがあります。安心して自己主張できること、これは発達のステップとして大切なことです。お子さんをここまで育てた自分をほめてあげてください。

そしてお子さんがどんなきっかけや状況でかんしゃくを起こしたか、周りはどう関わったか、こどもの反応はどうだったかを考えてみるとよいでしょう。

(続き)

それによって、まず環境を整えたほうがいいのか、興味を持ちそうな他の遊びに誘ったらいいのか、大人が反応せず落ち着くまで待ったほうがいいのか、対応を考えてみましょう。そのとき危険な行動は大人がしっかり止めて気持ちは言葉にしてあげてください。気持ちを受け取められた経験はいずれ自分や相手の気持ち理解につながっていきます。

(別リンク パンフレットをご参考ください)

Q. 言葉の数が少ないです。他の子と比べるとあせってしまいます。

聞こえ（耳）や音を出す（口）といった体の発達や言葉を理解する力、伝えたい意欲など、いろいろな発達が関係して発語につながっていきます。

また発達のルートは1つのルートをたどるのでは

なく個人差も大きいです。指差しをして何かを伝えようとしたら、言わせようとするのではなく大人が言葉を添えてみてください。長い説明はまだ理解できないので短く・ゆっくり・はっきりと話しかけ

ましょう。

言葉かけは日常生活の自然な関わりで充分です。

ご心配、お困りのことが
ありましたら、
お気軽にご連絡ください。

旭区 子ども・家庭支援相談

045-954-6160